

学習発表会、ありがとうございました。

多くの方のご参観、ありがとうございました。

3年生だけ延期になってしまい、悔しい思いはありますが、自分らしさを発揮して表現できる南白小の子供の姿に、胸が熱くなる思いをしました。詳細については、学校だより（幸が森だより）12月号をご覧ください。

第八波が来ています(感染予防にご協力を)

もう、第八波が来ています。全国、東京都、府中市、南白小と同様の傾向があります。散発的に陽性者はいましたが、このところ一人陽性になると次々と感染者が確認できています。今年1月の第六波の状況に似ています。しばらく厳しい状況が続くと思ひ、危機感をもっています。教育活動に制約がかかることもあるかと思ひます。ご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

生活科の学習…研究に取り組んでいます。

3～6年が理科の研究をしていることはお伝えしましたが、低学年は理科につながる内容を中心に、生活科の研究を進めています。生活科のねらいについて記載します。

生活科のねらい…自立し生活を豊かにしていくこと 自分の願ひや思いを実現しながら

- ① 学習上の自立（自分の思いや考えなどを適切な方法で表現できる）
 - ② 生活上の自立（生活上必要な習慣や技能を身に付ける）
 - ③ 精神的な自立（自分のよさや可能性に気付き、意欲や自信をもつ）
- 3つの自立への基礎を養う（大事なことは、低学年で自己肯定感を高めることです）

自分の思いや願ひを大切に、自己肯定感を高める学習を紹介します。

2年生活科…「うごく うごく わたしのおもちゃ」(まずは、自分でつくる)



自分の力でおもちゃを作ります



1時間の振り返りも大事な時間です

動力に、ゴム、閉じ込めた空気、おもり、風、磁石を使っておもちゃを作ります。この学習は、3年生や4年生の理科の学習につながります。大事なことは、自分なりに工夫し、試行錯誤しながら、

生活に必要な技能や、自分の願ひを実現し、自分の可能性を見いだすことです。

「どうぞ かご」という、自分のおもちゃに必要な物を自由にとってよいかごがあり、教師の準備も万全です。自分で作りながらも、自然と助け合いや教え合いが見られ、微笑ましい学習でした。

2年生活科…「うごく うごく わたしのおもちゃ」(友達と相談しながら)

「もっと速く動かしたい」、「もっと、高く飛ばしたい」などの思いをもちながら、グループで相談していきます。前の時間の振り返りから、友達と対話することで、アイデアをもらいます。



前時の振り返りからスタート

グループで対話を通して学ぶ

実際のおもちゃを見せながら、よく動くおもちゃについて、計画を作成していきました。

お互いに、おもちゃを見て対話しながらアドバイスする姿も、自己有用感・自己肯定感につながる姿だと思ひます。